

## 消防団長紹介



### 池田市消防団 団長 中尾 好美

池田市は、大阪府の北西部に位置し、能勢街道や西国街道などが通る、古くより交通の要所として栄えた街です。江戸時代から日本酒で有名な「呉春」や、日本四大産地の1つと言われる植木などがあります。また、観光としてカップヌードルミュージアム大阪池田にはたくさんの人が訪れています。

池田市消防団は、昭和22年に結成発足し、今の団構成とは多少変わり、現在に至っています。令和4年4月現在の構成は、団本部5名、北部・中部・南部の3方面隊に分かれ、7分団（細河・池田・秦野・鉢塚・北豊島・神田・呉服）で構成され、普通消防ポンプ車7台（可搬式ポンプ積載）を保有し活動しています。令和4年度からは、新たに女性消防団員20名（5月1日付入団）を募集し、総勢200名の団員で池田10万市民の安全・安心の確保を担っていきます。

中尾消防団長は、昭和50年4月に入団し、一時退団された時期もございましたが、平成10年に再入団から、班長、副分団長を務められ、平成20年4月に分団長、平成28年4月に副団長、そして令和4年4月から団長に任命されました。

団長が消防団幹部をされてからは、各分団の協力を得て、大事には至らずにきていますが、入団時は台風・災害・山火事と頻繁に出動した記憶があり、とくに山火事では、ケガをされた方も多く、消防団活動の中でとても印象に残っておられるそうです。

団長は冷静沈着、温厚な人柄で地域のために尽力されております。仕事は、農業や植木・庭の管理などをされています。ボランティア活動にも参加しておられ、仕事と趣味を両立し、楽しくいろんなことに取り組まれています。

昭和31年に団長がお住いの町で2名の方が殉職されたこともあり、災害時及び団活動においても、まず団員の安全を確保して災害活動や定期訓練に励めるよう注視されています。

今後として、男性団員には今まで通りハード面を活動し、また今年度発足する女性団員にはソフト面の活動をしていただきたいと考えられており、男女合わせて「地域の安全・安心は地域から」を心がけ、より市民に寄り添った消防活動のPRを展開していければと考えられています。